

会議名 第44回ニセコ町観光戦略会議

開催日 平成26年8月27日	会議時間	開会 PM 6:30 閉会 PM 8:00
会議場所 ニセコ町役場 第二会議室	記録者	商工観光課観光戦略推進係 係長 齊藤 徹
出席者 委員：渡辺委員、松岡委員、片岡委員、チャーチル委員、大久保委員、櫻井委員、木下委員 事務局：前原商工観光課長、齊藤観光戦略推進係長、淵野観光圏推進係長、ポール主査		
欠席者 委員：小関委員、吉村委員、服部委員、宮崎委員、今野委員		

【主な内容】

◇委員からの意見

《バーベキューのできる場所について》

- ・各担当課の考え方は、基本的には曾我森林公園、野営場以外は許可していない（施設管理や近隣の問題）。
- ・ごみ、炭（火）の適正な管理
→すべて持ち帰り
→芝生、アスファルト上での火の利用はダメ（原則は砂利やブロックの上のみ。イベント等でたまに利用する場合は長足のコンロならアスファルト上も許可する場合がある）。
→観光地としてはごみの問題は大きな柱であり、環境モデルとしてして中途半端な取り組みはできない。
- ・近隣への騒音・煙・臭いの問題
→場所は限られてくる
- ・可能となった場合、地元へ金が回る仕組みの検討が必要。地元食材や地元商店の活用、手ぶらプランなど（どこがやるか。町外での買い物、町外業者による配達サービスではもったいない）
- ・皆が気持ちよくやるには制約が多すぎるので、施設を整えるべき。
→優先順位としてはまだ低い。

《ノベルティー》

- ・ピンバッジデザインについて数パターン検討。
- ・帽子、ジャケット、タイピンなんでもOKのもの。
- ・台紙を作れば土産になる。キャッチコピーや名所なども印刷すればPR効果が高い。

《スケートボードパークの活用》

- ・スクールやイベントなど継続していくことで人が来るようになる。
- ・アスリートが育つことで、ニセコを大きく発信できる。

《アーティストの活用》

- ・ 土日のみでもいいのでサテライトショップを開くことで知ってもらい、最終的には工房へ買いに来てくれるようになる。
- 道の駅には売っている
- 綺羅乃湯のホールなどでも
- 冬は高いものも売れる

《ニセコ駅のおもてなし放送について》

- ・ 以前まで「ようこそニセコへ」というようなWelcome放送をしていた。声かけ運動はお客様にとっても気持ちのいいこと。再開すべきでは。
- ・ JRの制約によってやめたのかもしれない
- 自然消滅しただけ
- ・ 倶知安では駅に対するクレームが最も多い。駅の対応はその町のファーストインプレッションとしてとても重要。
- 改善点や、何ができるのかを次回議論する。